

納

盛夏の折、皆さんどのように涼んでいますか？ 一時でも暑さを忘れられればと、涼味を感じられる本を集めてみました。

涼みを味わう

涼

❖『カムイー神々の鼓動ー』❖

(太田達也・山と溪谷社)
闇の中現れたシマフクロウ。飛沫を上げながら鮭を追うヒグマ。北の大地に息づく神々の化身、その真実に迫る。太田達也渾身の写真集。



❖『夏おにぎり料理人季蔵捕物控[28]』❖

(和田はつ子・角川春樹事務所)
塩梅屋の近くでスリ騒ぎ？ 季蔵の推理が冴え渡る。市井のこころを描く捕物帖シリーズ。穴子、素麺、冷やし煎餅など、滋味溢れる夏の美味も登場。

❖『南極大陸大紀行 ー南極観測60年ー』❖

(南極OB会編集委員会・成山堂書店)
前人未到の南極大陸内陸部。極寒の地での60年の歩み。探検とその成果、衣食住を元観測隊員自らがつづる。

❖『ひんやりと、甘味(おいしい文藝)』❖

(阿川佐和子他・河出書房新社)
ーここに、涼ありますー。池波正太郎、立川談志、丸谷才一ら41名の筆者による冷たいスイーツにまつわる、それぞれの情景が目に浮かぶかのような随筆集。

❖『検索禁止』❖

(長江俊和・新潮社)
なぜ、禁止されたものに惹かれてしまうのだろう。「カシマさん」「コトリバコ」...調べてはいけない、見てはいけない“恐怖”を紐解く。

❖『ゆかたのドール・コーディネート ネイト・レシピ』❖

(chimachoco・グラフィック社)
市販の人形に着せられる手づくりのゆかた、帯、フリル甚平。色々アイテムのプロセスレッスン。アレンジ用の飾り小物も掲載。



❖『日本の風穴 冷涼のしくみと産業・観光への活用』❖

(清水長正・古今書院)
山の地中から天然の冷風が吹き出す「風穴」。各地に分布する風穴のしくみ、利用の歴史、観光への応用。テーマ別に専門家が語る。

❖『祇園祭の愉しみ

ー山鉾と御神輿をめぐる悦楽ー』❖

(芳賀直子・PHP研究所)
ー神輿渡御こそが最大の見せ場ー
祇園祭の見る・知る・楽しみむを、美しいビジュアルとともに解説。祭鱧、祭土産なども余さず紹介。

ちりっと



Chiratto
Vol.7

特集1

納涼 涼みを味わう

特集2

書評講座 本のPOPをつくろう
～あなたの心を動かす一冊～を
実施しました！

連載

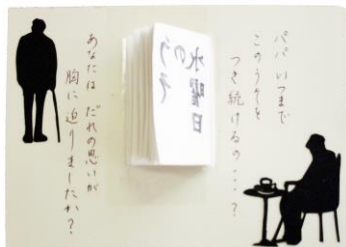
眠れる森の美本

お知らせ

西東京市図書館からのお知らせ
FM西東京で紹介した本

書評講座(連続・全3回)本のPOPをつくろう ～あなたの心を動かす一冊～を実施しました!

参加者の皆さんが作成してくださったPOPの一部をご紹介します。



6月3日(土)・10日(土)・17日(土)にひばりが丘図書館にて、書評講座を実施しました。講師の佐藤 壮広(さとう たけひろ)さんに、書評の書き方やPOPの作成についてレクチャーしていただき、自分がおすすめしたい本の書評を添削していただきました。

3回の講座を通して、参加者それぞれが創意工夫を凝らした、個性豊かなPOPが出来上がりました。図書館のHPでは、参加者の皆さんのおすすめ本の書評とPOPをご覧いただけます。ぜひご覧ください。

※7月～11月にかけて皆さんのPOPを各図書館で展示いたします。ぜひお近くの図書館をご覧ください。
7月：ひばりが丘 8月：柳沢 9月：谷戸・芝久保
10月：保谷駅前 11月：中央

第6回

眠れる森の美本

『岸田劉生全集 全10巻』
(岩波書店 1979年)

美術の教科書などで一度は見たことがあるであろう絵画「麗子像」。日本近代美術の代表的な画家のひとりである、岸田劉生の作品です。その岸田劉生が記した文章や、日記をまとめたのがこの全集です。日記には、後の妻となる女性への恋情や、家族が病気になったことを心配する気持ち、絵の執筆の進捗などが記されており、絵画だけでは知りえない岸田劉生という画家の一面を垣間見ることが出来ます。

図書館からのお知らせ

第9回大人におくる朗読会

日時：平成29年10月14日(土)
午後2時～4時(午後1時30分開場)
場所：保谷駅前公民館 集会室

保谷朗読会ボランティアによる大人におくる朗読会。申し込みは不要、入場無料です。当日、直接会場へお越しください。

F M西東京で紹介した本

『みんなで決めた日本一の朝ごはん』

美味しい朝ごはん調査隊/著 幻冬舎 2017.5刊
★旅における朝ごはんに注目して、日本全国のホテル・旅館で提供している美味しい朝ごはんを旅のきっかけにしてほしい。そんな願いをこめて開催されている「朝ごはんフェスティバル」。2016年のフェスティバルにエントリーしたホテルや旅館の自慢の「朝ごはん」から、厳選した448メニューを紹介する本です。★

『井伊直虎の真実』

黒田基樹/著 KADOKAWA 2017.5刊
★井伊家最後の当主・井伊直虎の実像は殆ど知られていない。著者である黒田教授はそう書き記しています。大河ドラマで注目される「女城主直虎」がどのような人物なのか。直虎の存在を示すわずか8点の史料から特に井伊谷で実施された「井伊谷徳政」の実態を明らかにし、直虎の真実に迫る作品です。★

発行：西東京市図書館

<http://www.library.city.nishitokyo.lg.jp>